

みどりの杜俳句会



うす紅葉我れを忘れていたりけり	佐山けさ子
きは立ちて紅葉一樹の山の端	飯野はつ志
銀杏黄葉枝付き落ちてあづま屋辺	鈴木 啓子
箒草紅の盛りや杜の庭	梅沢きくえ
杜の庭富士の形にへちま柵	西 ツル
一つ一つお会式花火揚がりけり	田村 好子
山の畑先づ茎切つてさつま掘り	落合 七郎
なだらかな坂に桔梗のあでやかさ	今村千鶴子
山茶花の古木となりて散りはじむ	吉田 愛子
軒の日に小振りパンジー色の良し	小宮 勉
蔓に指触れて零余子のこぼれけり	高橋 ツ子
百才のあと一年や年の暮	関口 侑子
虫喰ひの小松菜茹でて胡麻和えに	野口利江子
莢割つて黒豆取るや夕日の緑	岡部富美子
水底の岩にはりつく木の葉かな	鯨井 和枝
雨あがり艶良き秋のなすびかな	土屋 厚子
刺草の花穂となりて谷積	初雁 功子
遠山に雲のかかりて藤袴	木本 弘子
水源の森や漆の紅葉照る	山田 美子



人権シリーズ

【学校で学ぶ人権】

(411)

「先生。なんで学校に来て勉強しなければいけないのですか。」  
 児童からこの質問をされることがあります。私はこの  
 質問に対して「学校に来る」とこと「勉強をする」こ  
 とを分けて答えています。  
 なぜ勉強しなければならないか。この質問に対して  
 は、将来の自分の可能性を広げるためだと答えていま  
 す。職業を選択するときに、選択の幅が広がるためだ  
 と考えています。もちろん、それだけではないことは重々  
 承知しています。  
 なぜ学校に来なければならないか。この質問に対して  
 は、社会で生きていくための力を身に付けるためだと  
 答えています。学校は集団生活を行う小さな社会で  
 す。子供たちが羽ばたく社会も集団生活を行い、み  
 んなが誰かと関わりをもって生きています。そこでは、  
 協調性やコミュニケーション能力を発揮し、お互いが社  
 会の中で、自由に考え、自由に行動し、幸福に暮らせ  
 る権利を尊重し合っています。つまり、お互いの『人権』  
 を尊重し合って生きているのです。  
 児童には、学校の集団生活の中で、社会で生きてい  
 くための力を身に付けてほしいと願っています。そのた  
 めに、各教科の授業はもちろん、児童と一緒にいる時  
 間の中で『人権』について考える機会を多くとっていき  
 たいと考えています。お互いを尊重し、差別や偏見の  
 ない世の中を創る人材を育成していきます。

槻川小学校教諭 矢嶋 和幸

アートの世界



「ピオニー（牡丹）」  
 作者 版画を楽しむ会  
 山崎 正子さん（御堂）

牡丹は花の中でもとても優雅で繊細、気品  
 あふれる花として知られています。  
 作成するにあたり、今までは違う何かを  
 と模索する中、今回のような明るく大胆な作  
 品にめぐり遭いました。  
 私自身、とても思い切った大きな挑戦でし  
 た。中心から外側にかけてぼかしを入れた牡  
 丹の花に、葉先の枯れかかった部分の色使い  
 も細かく表現した作品となっています。  
 自分の思ったようには中々いかず苦戦をし  
 ましたが、仕上げて、額に入れると額に助け  
 られ、とても満足しています。